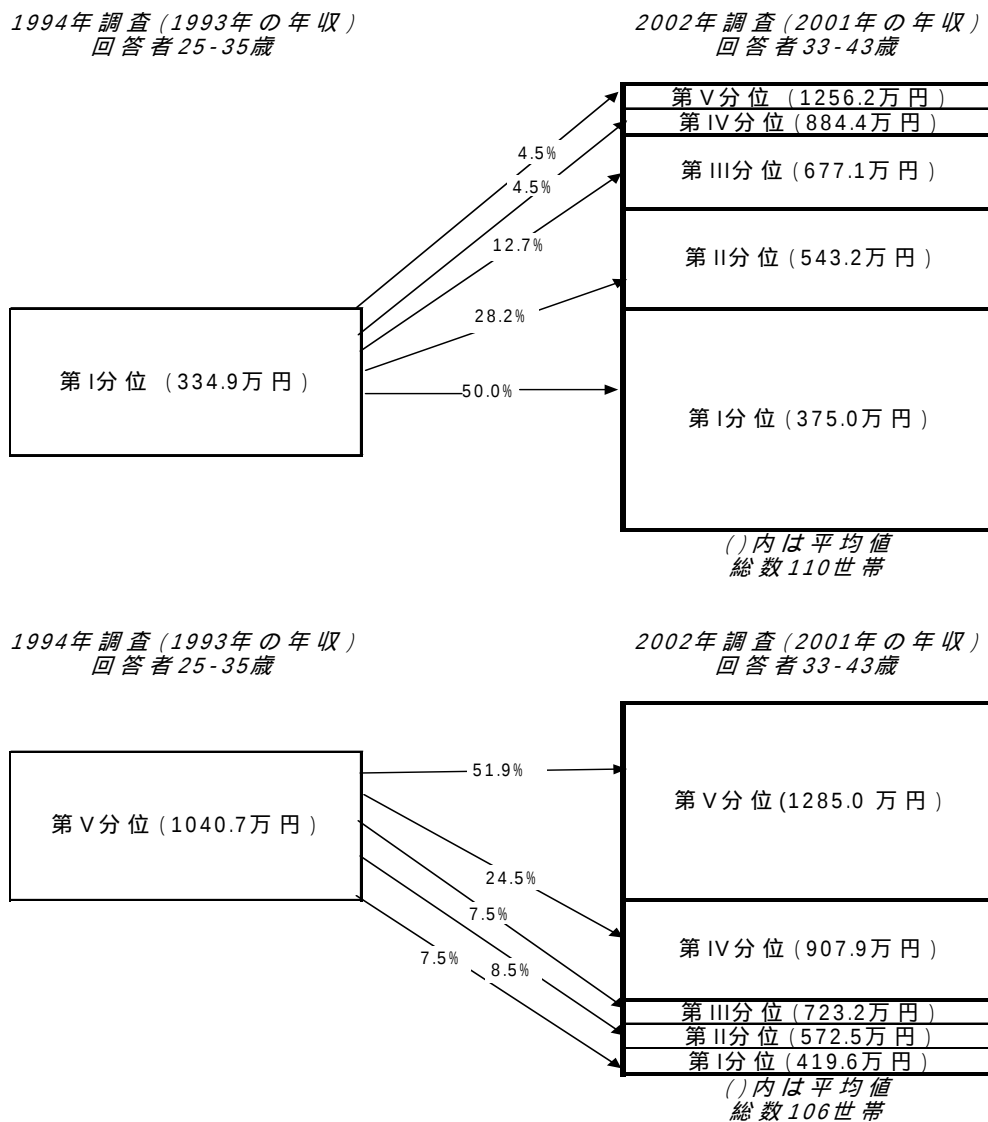


1. 所得格差の拡大と所得階層固定化の動き

1 - 3 両端の所得階層にいた世帯の約半数が、8年後も同一階層

図表3は、1994年調査で第Ⅰ分位（最も低い所得階層）と第Ⅴ分位（最も高い所得階層）に位置した世帯が、2002年調査ではどの所得階層に移動したかを示したものである。両階層に位置した世帯ともに、その約半数が8年後も同一所得階層に位置していた。

図表3 1994年調査で第Ⅰ、第Ⅴ分位だった世帯の所得変化



注 1993年時点で有配偶世帯であり、2002年まで継続して調査に回答している世帯を対象。

所得は世帯収入実額（財産収入は除く）